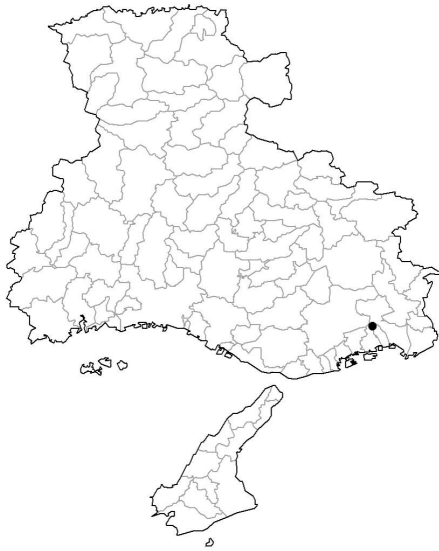
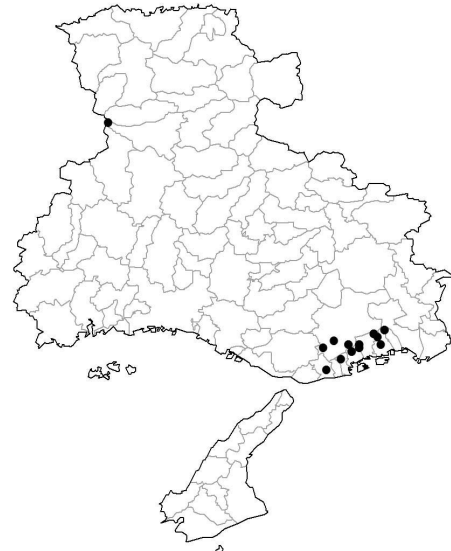


196. ソウシチヨウ *Leiothrix lutes*

(スズメ目チメドリ科)



繁殖期 1994年以前

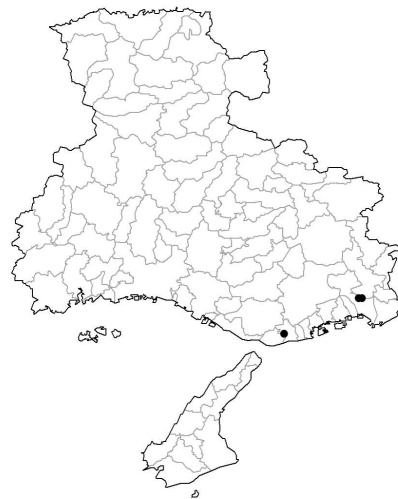


繁殖期 1995年以後

飼い鳥として古くから輸入されていた鳥で、1931年に越冬個体が六甲山で観察されたが、1970年頃には殆ど確認されなくなった。1980年に裏六甲の白石谷で巣立ち雛を含む家族群が観察され、繁殖が明らかになった。その後しばらくは裏六甲の頂上付近のスズタケの藪の中で営巣していたが、しだいにネダケ群落に進出し、1995年以後は表六甲に出てくるようになり、個体数が劇的に増えた。最近まで繁殖期は六甲山系から外に出ていなかったが、2004年7月に氷ノ山の山頂近くで生息が確認された。

確認情報

芦屋市 東お多福山, 1999/6: 支探, 1991/6: 梶本;
 神戸市 五助ダム, 2002/5, 1995/5: 下土居, 森林
 植物園, 2004/7, 2000/5: 支探, 須磨区, 2004/12:
 黒木, 谷上, 1999/12: 支探, 鉄枌山, 2001/1: 中南,
 東灘区, 2000/5: 下土居, 布引, 2004/6, 1999/12:
 支探, 北区泉, 2004/7: 鎌田, 摩耶山, 2000/5,
 1998/5, 藍那, 2004/5, 2000/5: 下土居, 2004/2,
 六甲山町, 2004/6, 2001/6: 支探, 友が台公園,
 1990/1, 1989/12: 奥野; 西宮市 甲山森林公園,
 2001/1: 支探, 2004/12, 1992/2: 飯田



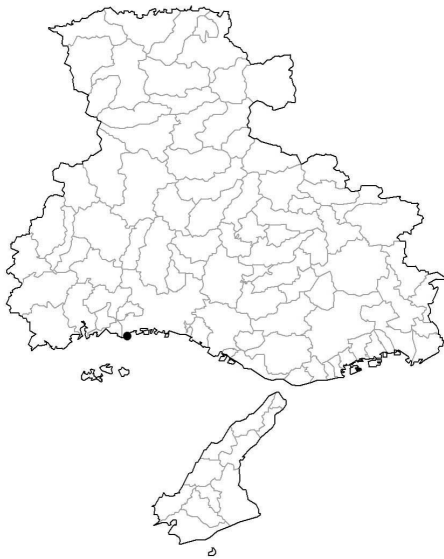
越冬期 1994年以前



越冬期 1995年以後

197. ベニスズメ *Amandava amandava*

(スズメ目カエデチョウ科)



1994年以前



1995年以後

飼い鳥が野生化したもので、1960年代から1970年代までは播磨地域や摂津地域に多く見られたが、その後急速に姿を消している。

確認情報

姫路市 大塩町, 2004/6:工, 興浜, 1982/2:黒田

198. ギンバラ *Lonchura malacca atricapilla*

(スズメ目カエデチョウ科)



1994年以前



1995年以後

もとは飼い鳥だが、水辺のヨシ原などに1960年代頃生息していたとの記録があるが、1980年代以後見られなくなっている。

確認情報

加東郡 社町明石池, 1979/12:三谷

199. キンバラ *Lonchura malacca malacca*

(スズメ目カエデチヨウ科)

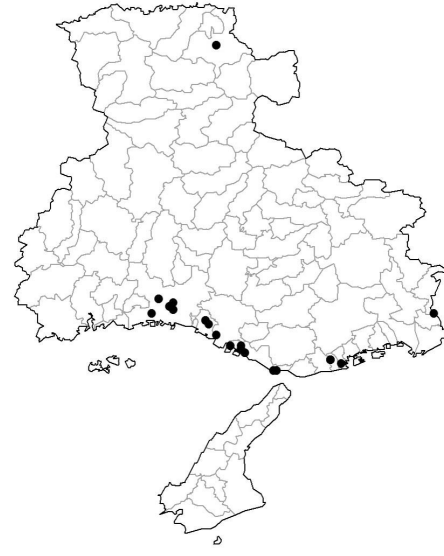
該当情報なし

200. ハッカチヨウ *Acridotheres cristatellus*

(スズメ目ムクドリ科)



1994年以前



1995年以後

東南アジアに分布する種で、飼い鳥として県内に持ち込まれたものが逃げ出し、野生化したと考えられている。1982年に姫路市で初めて確認され、次第に東にその生息範囲を広げている。1995年以後、明石市まで帯状に進出し、飛び地的に神戸市から東へ分布している。また、スポット的に豊岡市に出現している。

確認情報

伊丹市 下河原, 2004/6:新田:加古川市 喜瀬川, 2004/7, 2003/7:下土居, 市東神, 2004/5, 市尾上, 1994/7:工, 尾上町, 2004/5:木下:加西市 法華山谷川, 2003/7:下土居:高砂市 松陽, 2004/5:工:神戸市長田区, 2002/6:余部, 兵庫運河北, 1997/12:中南:西宮市 寿町, 1997/6, 1997/5:梶本:姫路市 阿保, 1998/2:工, 安田, 2001/7:三谷, 広畑区, 2003/5:名村, 高岡駅, 2004/7, 1998/6:

脇坂, 市川, 1988/12:支探, 神屋町, 1999/7, 北条口, 1999/5:三谷:豊岡市 若松, 1999/5:但馬:明石市 瀬戸川河口, 2004/12, 1999/1:長尾, 清水川, 2005/6:伊賀, 東二見, 2003/6:長尾, 二見町, 2004/6:上中, 明石川, 2003/2:渡辺, 明石川河口, 2003/2:松重, 魚住町, 2005/6:伊賀:龍野市 富永, 1999/5:黒田

あ と が き

野鳥は昔から絵画や詩歌の素材とされ、花とともに人の心を和ませる存在でした。私たち日本野鳥の会兵庫県支部は1981年に創設以来、野鳥を通して自然に親しみ、自然の尊さを学び、そして自然と人との共存できる環境の保全・再生を願って探鳥会や野鳥保護に関する調査および保護活動をおこなってきました。

そうした中で25年が経過し、いくつかの資料が蓄積されてきました。また、地域の野鳥観察の記録を蓄えている会員も増えてきました。こうして蓄積された資料は組織や個人の枠内に留めず、豊かな自然環境の保全・再生を願う者で共有し、適切に活用できるようになれば、想像以上に大きな力になるのではないかと考えていました。

兵庫県立人と自然の博物館から、兵庫県内の野鳥生息分布の過去と現在を見るための資料作成の依頼を受けた折には、上記の資料が活かせる機会ととらえてお引き受けしました。しかし、支部だけでは県下全域をカバーすることは難しく、県内各地域で活動されている野鳥保護団体の皆様にも協力をお願いしたところ強力なご支援をいただき、発刊の日を迎えることができました。個々がもつデータの共有化の重要性を改めて再認識致しました。

分布図をながめていきますと、いままであまり気にしていなかったことが見えてきます。淡路島が特異的な鳥相であることがはっきり見えますし、希少種と言われる種以外にも、注目しなければならないものがあることが分かります。また、野鳥を指標とした、地域の生物多様性の把握が容易になりました。

しかし、個々の観察精度が高いとはいっても、悉皆調査によって得たデータでなく、会員ならびに協力団体から提供を受けたデータが基盤となっているため、データの地域分布には限界があります。今後、この冊子を基盤として上記の弱点を補完した調査とデータ補充を行い、さらに充実させるよう努力しなければなりません。

最後になりましたが、会報資料の掲載の許可をいただきました但馬野鳥の会の早川貞夫会長、探鳥会データをご提供いただきました宝塚野鳥の会の川合寛会長、調査資料のご提供をいただきました西脇市動植物生態調査グループの関係各位に深謝いたします。

日本野鳥の会兵庫県支部 支部長
重 政 慶 三

付図 兵庫県の旧市町の位置図（2004年1月30日現在）



付表 2004年2月以後に合併した市町

旧・市町名	新・市町名
豊岡市 城崎町 竹野町 日高町 出石町 但東町	豊岡市
浜坂町 温泉町	新温泉町
香住町 村岡町 美方町	香美町
八鹿町 養父町 大屋町 関宮町	養父市
山崎町 一宮町 波賀町 千種町	穴粟市
生野町 和田山町 山東町 朝来町	朝来市
神崎町 大河内町	神河町
柏原町 氷上町 青垣町 春日町 山南町 市島町	丹波市
中町 加美町 八千代町	多可町
佐用町 上月町 南光町 三日月町	佐用町
社町 滝野町 東条町	加東市
西脇市 黒田庄町	西脇市
三木市 吉川町	三木市
龍野市 新宮町 揖保川町 御津町	たつの市
姫路市 家島町 夢前町 香寺町 安富町	姫路市
津名町 淡路町 北淡町 一宮町 東浦町	淡路市
洲本市 五色町	洲本市
緑町 西淡町 三原町 南淡町	南あわじ市

監修者・執筆者・調査協力者一覧

[監修者]

江崎 保男 1951年大阪府生まれ、兵庫県立大学教授および兵庫県立人と自然の博物館研究部長、著書・編書に「水辺環境の保全-生物群集の視点から」「近畿地区・鳥類レッドデータブック」など

[執筆者]

奥野 俊博 日本野鳥の会兵庫県支部 研究部長
 下土居知子 日本野鳥の会兵庫県支部, (有) 地域生態系保全
 脇坂 英弥 日本野鳥の会兵庫県支部, (財) 日本野鳥の会サンクチュアリ室
 三橋 弘宗 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員

[情報提供者・情報提供団体]

(略号：報告者氏名)

五十音順

足立：足立 逸子	余部：余部 柁雄	飯田：飯田 肇	伊賀：伊賀 文計	池口：池口 和三
石井：石井 考司	井戸：井戸 浩之	五百蔵：五百蔵 聡	今田：今田 吉孝	岩本：岩本 和久
梅津：梅津 節雄	梅田：梅田 雅俊	大河戸：大河戸 恵子	奥野：奥野 俊博	小畑：小畑 義之
梶本：梶本 恭子	鎌田：鎌田 淳子	上中：上中久美子	河藤：河藤 昌子	北野：北野 光良
木下：木下 文生	久後：久後 英世	国永：国永 成多	倉本：倉本 春美	黒木：黒木 道子
黒田：黒田 治男	齋藤：齋藤 和郎	重政：重政 慶三	島田：島田 夏江	下庄：下庄 豊子
下土居：下土居知子	工：工 義尚	田中：田中 葉子	谷川：谷川 智一	出口：出口 敦司
友田：友田 達也	鳥田：鳥田 陽子	中井：中井 和代	長江：長江 卓也	長尾：長尾 高明
中島：中島 秀樹	中南：中南 秀樹	名村：名村 ゆり	西垣：西垣 陽子	西田：西田 隆昭
新田：新田 朋子	丹羽：丹羽 弘	橋本：橋本 清澄	早川：早川 貞夫	飛田：飛田 良平
平野：平野 修	福原：福原 洋一	藤井：藤井 昭三	前田：前田 崇雄	松重：松重 和太
松永：松永 正博	松本：松本 茂	丸谷：丸谷 聡	丸橋：丸橋 寿夫	三谷：三谷 康則
宮村：宮村 秀樹	村田：村田 健	森田：森田 俊司	森戸：森戸 隆弘	安岡：安岡 政則
柳沢：柳沢 秋介	横道：横道 哲士	脇坂：脇坂 英弥	渡辺：渡辺 美郎	

(略号：情報提供団体、文献名)

但馬：但馬野鳥の会	宝塚：宝塚野鳥の会探鳥会
支探：兵庫県支部探鳥会	支独：兵庫県支部独自情報
西研究G：西脇市動植物生態調査研究グループ	
兵庫の鳥：兵庫野鳥の会データ, 兵庫の鳥 (1991)	
水国：兵庫県が実施した河川水辺の国勢調査の結果より	

[写真提供者 (略号)]

岩崎健二(KI)、生頼一郎太(IO)、奥野俊博(TO)、川本直孝(NK)、北野光良(MK)、木村壱典(KK)、重政慶三(KS)、松重和太(KM)、三谷康則(YM)、南川弥生(MM)、渡辺美郎(YW)

[編集協力者]

河藤昌子、田中葉子、梶本恭子、新田朋子 (日本野鳥の会兵庫県支部)

[この冊子について]

この冊子にとりまとめた兵庫県の鳥類の分布に関する情報は、日本野鳥の会兵庫県支部が兵庫県立人と自然の博物館からの委託を受けて実施した調査業務、データベース化業務、および博物館が所有する関連情報を総括したものである。

兵庫県立人と自然の博物館のデータバンク事業

自然環境に関する情報は、博物館の標本情報や研究成果、行政の実施した環境調査、自然愛好家による調査、大学の研究者による調査など枚挙に暇がありません。兵庫県立人と自然の博物館では、開館以来、各地に分散する様々な情報の収集を図り、自然環境に関する情報を集約し、自然環境モノグラフとしてとりまとめるとともに、データベースとして保管しています。こうした情報は、研究・展示や環境行政支援などの様々な用途へと活用しています。

■自然環境情報の収集

博物館は標本を収集するだけではありません。標本作成が容易な小型の生物とは違って、大型の哺乳類や鳥類、自然地形等は、標本を収集すること自体が難しいため、情報でしか記録を残すことができません。また、絶滅に瀕している動植物は、むやみやたらに標本にすることで、自然環境の破壊に繋がる懸念されます。標本や書籍以外にも、古い写真やメモなども、かけがえのない情報となります。こうした情報を、様々な形で利用しやすいように、各種データベースや地理情報システム（GIS）を活用して電子データとしての整備を行っています。

〔業務内容〕

- ・収蔵資料のデジタル化および公開用データベースの作成
- ・自然環境情報に関連した出版物の発行（自然環境モノグラフ）
- ・博物館情報システムの開発
- ・委託調査業務の実施
- ・簡易GISの提供
- ・レッドデータブック掲載種に関するとりまとめ
- ・一般からの質問および提供情報のデータベース化
- ・リサーチプロジェクトの実施

■自然環境情報の活用

博物館が整備している自然や環境に関する情報は、地域資源の保全を行うためには欠かせないものです。これまでに、環境影響評価やレッドデータブックの作成など様々な環境行政に関する事業において、博物館の有する情報が利活用されており、整備したデータは行政機関等からの正式な依頼に応じて提供しています。また、より多くの方に情報を利用して頂けるよう、整備されたデータの一部については、博物館の展示端末やホームページを通じて公開しています。

〔業務内容〕

- ・行政機関への情報提供
- ・学術目的での情報提供
- ・環境情報の活用に関する受託業務
- ・自然環境情報システムの設計・開発および各種支援業務
- ・行政職員への研修会の開催

(シンクタンク事業推進室)

兵庫県立人と自然の博物館
自然環境モノグラフ 2号

兵庫県における鳥類の分布と変遷

2006年3月31日 印刷

2006年3月31日 発行

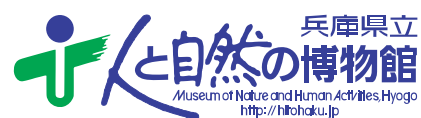
発行 兵庫県立人と自然の博物館

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目

印刷 アイシー印刷株式会社

兵庫県における鳥類の分布と変遷

兵庫県立人と自然の博物館 自然環境モノグラフ2号 2006年3月



〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
tel.079-559-2001 fax.079-559-2007
6chome Yayoigaoka Sanda Hyogo, Japan 669-1546

Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
Monograph of Natural History and Environmental Science, No.2

Bird Distribution and its Historical Change in Hyogo Prefecture